

島根県益田市高津地区

地域づくりのテーマ：高津っ子の住みよいまちづくり



①地区の概要

【地区の現況】

人口 7,723人、高齢化率 38.3%(令和6年1月末時点)
山・川・海に囲まれた自然豊かな地区です。

【地区の魅力】

自然豊かでありながらも、生活に必要な施設・設備も整っており、とても暮らしやすい地区です。又、活動団体も多く地区の行事も活発です。

小学校1、中学校1、高校1、高等技術校1、保育園4、があり教育機関も充実したまちです。

【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、諸団体等の後継者不足、人間関係の希薄化等、様々な分野で問題・課題を抱えています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

「万葉の里 高津未来の会」

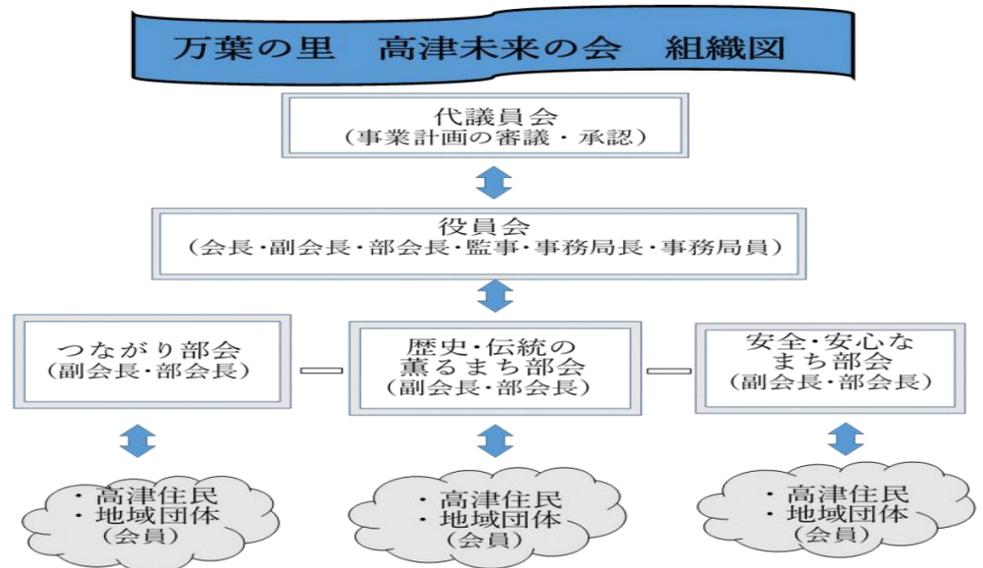
「ロゴマーク」



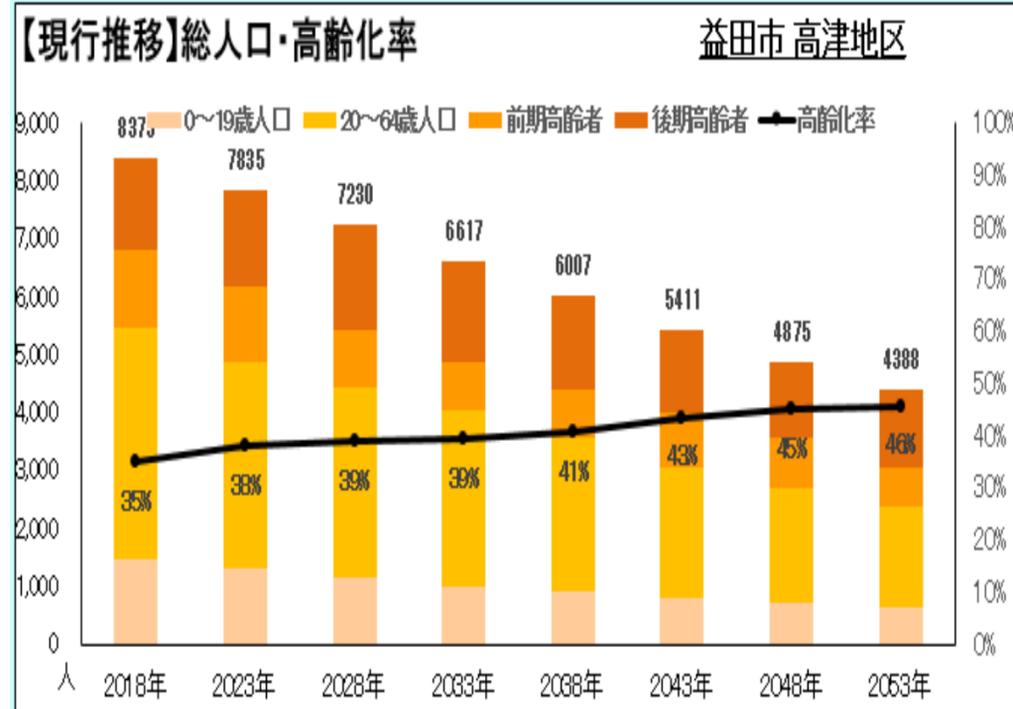
【構成団体、構成員】

- ・高津地区住民
- ・各種団体
- ・各種団体から代議員20名
- ・公募より代議員4名
- ・役員(会長1名、副会長3名、部会長3名、監事2名)

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

☆会報を発行し地区内に回覧。その他にも、会議・行事等の様子もその都度インスタグラムで情報発信。告知端末放送も活用し、より幅広い世代へと情報発信に努めている。

☆公民館活動と並行して、講座や事業に取り組んだ。

☆中・高生がホーランエーの船出前に和太鼓で活気づけた。

☆地域に埋もれた歴史的文化遺産等の発掘・見える化。

☆益田市と島根県立大学との共同研究によって地域の歴史・伝統文化(ひと・もの・こと)をデジタル化し、記録保存。SNSで公開。

【会長よりメッセージ】

当会にとって第一次プランのまとめの年として、事業の充実・発展を期して活動を進めていきたいところであるが、年次を閉めるに当たり、活動が十分であったかを問われると、自他共に不十分さは否めないと感じ止めている。

当会の現体制であれば、活動そのものの内容量を増やすことには限界を感じる。

今後は、活動認知のための情報発信の有り方、地区民及び他団体等との連携協力のあり方の工夫・努力が求められると考えている。



島根県益田市高津地区

⑤こんなことが話し合われています



○役員会を6回行いました。(1月末現在)
○各部会会議は、各部会ごとに必要に応じ開催。役員会で、情報共有を行ない事業を実施した。



○高津小の5.6年生と一緒に、小学校入口の横断歩道にUVステイマークを貼った。



○歴史伝統文化の薫るまち部会
× 連理松センター × 高津公民館

冬休みの子どもの居場所づくりコラボ企画！[ろうそく作り]
高津蠟座石臼の歴史を学び、ろうそく作りを行った。



○歴史伝統文化の薫るまち部会
× 県大 × 高津公民館

「夏休みの子どもの居場所づくり」コラボ企画！[動画をつくろう]を2回の連載で実施。撮影と編集のノウハウを学ぶ。

⑥こんな地域づくりを行なっています

撮影のノウハウを学んだ子ども達が流鏝馬の射手の方にインタビューしながら撮影した。



[高津餅つき音頭に親しむ会]



地区内4園の年長児を対象に開催。園児たちは、掛け声を教わり、歌いながら参加した。

柿本人麿の終焉伝承を継承する事業



現在、令和6年3月末を完成予定とし工事中。



「ありがた市」



毎月第2・第4木曜日に開催。少しずつ定着してきており、買い物だけではなく、来場者の集いの場となりつつある。

ふるさと教育デジタルアーカイブ事業

高津流鏝馬について撮影



× 県大



高津の「鶺鴒い」について撮影



(SNSにて公開中)

登下校の見守り



毎日の見守りの様子



和太鼓事業
(高津公民館共催)

・4年ぶりのホーランエー
・念願「船出前に活気づけ」

中・高生の若者パワーで地域を元気に！



万葉の里ひとまるフェスタにおける「ひとまるつながりマルシェ」を実施



お問い合わせ先

名称: 万葉の里 高津未来の会
住所: 〒698-0041
島根県益田市高津2-5-2(高津公民館内)
電話: 0856-23-1791



☆高津公民館と共に情報発信しています。

